

「未来志向」の島のあり方 〜三宅島の若者の「いま」から考える〜

三宅島に魅力を感じ、三宅島を良くしようと考えている「よそ者」の「若者」たちが、三宅島の中でもがきながらも活躍している。彼らがどうして三宅島にやって来たのか？彼らの過去そして現在の活動をおしえて「未来志向」の三宅島のあり方を模索する。

◆登壇者

1 「三宅島の福祉に携わって 考えたこと」

吹田 伊都子
(社会福祉法人三宅島社会福祉協議会)

2 「島で仕事を創る」

伊藤 奨
(一般社団法人アットアイランド)

3 「好きになってほしい 三宅島の自然」

内藤 明紀
(公益財団法人日本野鳥の会、三宅島自然
ふれあいセンター・アカコッコ館)

4 「陸の孤島の島おこしと若者」

立柳 聡
(福島県立医科大学)

5 「八丈に1年住んで 考えたこと」

加藤 玲奈
(東京都立八丈高等学校)

2019年8月31日(土) 13:00～16:30

- 場所:リフレッシュふるさと館
(ふるさと体験ビレッジ内) 1階ホール
- 参加費: 無料
(島嶼コミュニティ学会関係者は資料代1000円)
- 問合せ: tachiyana@fmu.ac.jp

